

会 議 録

会議の名称	令和4年度 美郷町若宮地区住民説明会
開催日時	令和4年7月19日(火) 19時00分 ~ 20時00分
開催場所	美郷町若宮地区公民館
出席者	若宮地区長：田村 様
	若宮地区住民：他22名(男性：16名 女性：6名)
	美郷町町民生活課(担当)：田村課長、甲斐主幹、中田主任主事
	構成市町村：鈴木課長(日向市) 甲斐課長(門川町) 黒木主査(諸塚村)
	黒木課長(椎葉村)
	広域連合：吉田事務局長、田中補佐、黒木係長、尾前主査
	建設技術研究所(コンサル会社)：池田主任
議 題	別紙のとおり
会議資料 の名称 及び内容	・資料1 次期広域最終処分場候補地選定に係る説明会
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

説明会内容	
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ（区長・担当課長） 美郷町若宮地区区長からあいさつ 美郷町町民生活課長（担当課長）からあいさつ 参加者の紹介 （美郷町役場町民生活課（担当）／田村課長、甲斐主幹、中田主任主事） （構成市町村／日向市環境政策課：鈴木課長 門川町環境水道課：甲斐課長 諸塚村住民福祉課：黒木主査 椎葉村税務住民課：黒木課長） （広域連合／吉田局長、田中補佐、黒木係長、尾前主査） （コンサル／池田主任）</p> <p>3 説明（進行：美郷町町民生活課）</p>	
説明会次第	
・次期広域最終処分場用地選定に係る説明会（資料1）	
<p>【事務局】 （資料1「次期広域最終処分場用地選定に係る説明会」について、資料内容に沿って説明する）</p> <p>【司会】 これより質疑応答を始めていきたいと思います。 まず初めに、伺いたい旨2点挙げております①候補地の状況と②最終候補地の選定方法についてご意見をいただきたいと思います。なお、意見のある方は挙手のうえ、一問一答形式でお願いします。 それでは、何かご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか？</p> <p>【地区住民】 資料P9の三次候補地選定までの経緯のところ、日向市は選定対象外となっている。対象外と決定したのはいつ頃なのか？</p> <p>【事務局】 この事については、これまでの経緯を基に説明いたします。 平成9年5月に国（厚生省）から都道府県に対し、ごみ処理広域化計画の策定命令が出されたことを受け、平成11年7月、日向・入郷地区ごみ対策協議会において、日向市を除く当時の2町5村にて最終処分場を広域化することが承認され建設に向けた計画が始動したが、実現しませんでした。 平成17年12月、当時の2町5村から日向市に対して、日向市最終処分場の共同利用の要望書が提出されました。これを受けて日向市から、次期最終処分場を日向市域内に建設しないことを条件に同意する旨の回答がされて</p>	

おります。その後も協議・検討を重ね、平成 24 年 3 月、次期最終処分場は日向市域外に建設することの条件に 2 町 2 村が同意し、共同利用を開始したことから日向市を選定地域から除外することとしております。

【地区住民】 日向市と東郷町の合併があっているが、合併前に日向市以外に造ることが協議検討されているということか？

【事務局】 協議検討におきましては、言われるとおりに合併前からされてきておりますが、最終的に協議決定されたのは合併後となっております。

【地区住民】 協議段階で、ある程度の方向性が固まっていたという話であれば、東郷町も対象範囲に含めるという考えがあってもいいのではないか？なにも、このような山奥まで運搬をしなくても、日向市近郊と比較すればアクセス面の差が歴然であると思うので、そういった話が協議の中であったならば東郷町という選択肢も含めて検討すべきではないのか？

【事務局】 先ほどの説明で、大体の概要はご理解いただけたと思いますが、補足説明をさせていただきます。もう少し前からの話になりますが、過去には山の谷合などに粗大ごみなどを捨てていた時代がありました。しかし、公害問題につながることから、国から管理型処分場という遮水シート等で汚水が漏れ出ないようにし、汚水（浸出水）をきれいな水になるまで処理した上で放流する形で管理を行うことと命令が出ました。

その際、日向市は独自で造ることを決めましたが、残りの 2 町 5 村は共同で造るという形で決めた経緯があります。日向市は、予定通り処分場を建設しましたが、2 町 5 村についてはいろいろな経緯があって頓挫してしまい、建設には至りませんでした。

合併後に 2 町 2 村となりましたが、なかなか建設までに至らない背景があり、日向市に共同処理のお願いを再三に渡り行っておりました。日向市としては、処理量が減ることから了解しがたい話であったのですが、最終的には 2 町 2 村のお願いを聞き入れて共同処理を行う形となりました。

その時の条件が、次に造る処分場は日向市以外にするということで、その決定を行った時期が東郷町と合併した後であったため、今回の選定範囲対象外となっているということでございます。

【地区住民】 納得がいかない部分はあるが、理解した。もう一点、候補地は長谷川から（奥に）入っていった場所で、かなり急峻な山間部であると思う。どのように造成するかという話はまだ決まっていらないと思うが、この辺りで 3 ha 程の土地を埋め立てるという計画か？

また、工事するとなった際、下からコンクリート（基礎）で階段状に突き上げてくる形で造成していくしかないと考える。上から作業を進めていくとなると、地形的に考えたらかなり大変な工事であると思う。私たちが心配す

ることではないと思うが、工事中にコンクリートが（河川などに）流れ出たりしたら下流域の和田地区の水田に迷惑がかかると思うので、そういったところが少し心配される。

【事務局】 ご意見ありがとうございます。地図上でお示ししている候補地⑫が和田若宮地区ですが、赤点線で囲まれたところが現段階で想定している建設候補地となり、この中に埋立地や管理棟、浸出水処理施設などを造成していく形になります。これら全てを造成可能な敷地面積が3ha必要であるということをご理解いただきまして、建設するとなった際は、今ある地形を活用しながら処分場の造成を行っていくこととなりますので、造成工事を行う際には十分注意しながら進めていく考えでございます。

また、工事中などにおける放流水の処理方法や放流先、環境影響等につきましては、今後最終候補地として選定された際にご協議しながら進めさせていただくことはもちろんですが、選定していく中で現地調査をさせていただく際にも十分な検討を行っていきたいと考えております。

【地区住民】 候補地の中で、赤点線で示されている場所の高さはどの位置になるのか？なんとなく分かる部分はあるが、（近辺の）道路よりも高い位置なのか？

【事務局】 地図上で示されている赤点線の部分につきましては、全部がごみで埋め立てるわけではありません。工事の中で、崩れたりしないように法面工事を行うといった範囲も含めたものです。今後、しっかりとした配置を検討していくこととなりますが、道路際までごみがくるというわけではなく、候補地の右側に法面工事を行うことで安定化させるということになります。

【事務局】 補足として説明させていただきます。日向市にある現処分場の航空写真をスクリーンにお示ししておりますが、低くなっている場所から法面高5mの5段で構成されており、ここに一般廃棄物の埋立と覆土を行いながら処理をしていきます。周辺道路につきましては、付近の清掃センターに繋がる道路があります。元々、現処分場の位置は谷部であり、地形を活用して造成を行っております。

先ほど案内させていただいた見学会につきましては、こちらの現処分場の現状と水処理施設での処理状況をご確認いただきたいと思いますので、ぜひご参加をお願いいたします。

【地区住民】 最終処分場ができた後の話になるが、付帯設備で水処理のプラントを設置することになると思う。ポリマーや凝集剤（PAC）などを用いて処理するのだろうが、そこに汚泥などの堆積物が溜まると思う。そういったものの処理はどう考えているのか？

【事務局】 水処理施設で発生した汚泥等につきましては、処分場で埋立処理することになります。

- 【地区住民】 処分場に埋め立てるとなると、さらに汚泥分（の埋立容量）が付加されると思う。私の考えとしては、予算の都合もあるとは思いますがリサイクルができないのかと考えている。例えば、圧縮して学校関係のレンガに利活用したりするようリサイクルを検討してほしい。
- 【事務局】 貴重なご意見ありがとうございます。今後、計画を進めていく際、意見交換などをさせていただきながら、より良い施設になるよう取り組んでいきたいと考えております。
- 【地区住民】 水質検査結果が示されているが、この4項目が良ければ問題ないのか？それとも、他に指標があるのかどうかを教えてください。
- 【事務局】 処分場から出る処理水につきましては、排水基準というものが定められており、ここに示した内容が基準値を満たす必要があります。これ以外につきましても、ダイオキシンなどの項目がありますが、そういった項目についても基準より更に低い形で水処理を行い放流しております。
- 【地区住民】 日向市の水質検査結果だと思うが、鳴子川の pH 数値が 7.3～8.1 と大きくブレており、水質基準としては 5.8～8.6 の間だと思うので、ここの 8.1 という数値は高い方だと考える。水処理を行う際、薬品等を用いると思うが、その辺の処理というのはどういう形で行っているのか教えてください。
- 【事務局】 資料内にお示ししている水質検査結果につきましては、河川の環境基準になりまして、これと同様に処分場の排水処理も基準を満たす必要があります。鳴子川に関しましては、言われるとおりの幅がある結果が示されておりますが、これは年間を通して変動する幅になっており、平均して見たときの結果が表中の記載になります。河川の環境基準では、6.5～8.5 となっておりますので、範囲内には入っております。
- 処分場で実際に水処理を行うとき、どのようにするのかという点につきましては、言われるとおりの薬品を用いて処理を行います。
- 【地区住民】 搬入出に関して、ダンプの台数や大きさなどはどの程度なのか？
- 【事務局】 搬入出につきましては、焼却灰が平日の午前午後各 8 t ダンプで各 1 台、不燃性残渣が 4 t ダンプで週に 4 台程度で、1 日あたり 3 台程度が往来する想定をしております。
- 【地区住民】 処分場を運転するのに必要な水（量）はどの程度なのか？
- 【事務局】 処分場で埋立を行う際に必要な水ということでしょうか？
- 【地区住民】 処分場を管理運営する上で、焼却炉の稼働や散水などを行う際には当然水が必要だと思う。そういった管理に必要な水（量）のことを聞きたい。
- 【事務局】 施設の中で必要となる水ということでご説明いたします。基本的には、水処理施設という設備を設けまして、処理水を再利用して運転するものになりますので、浄水をたくさん使うということではなく、必要最低限の浄水は使

用しますが処理水を施設内で再利用するという形になります。

処理量に関しましては、処分場の面積によって変わってきますので現状では詳細に申し上げることができませんが、日当たり数百 t の処理ができるものを設置する形になると考えております。

【地区住民】 どうしても水が必要になるので、その時は長谷川から取水するような形になるのではないかと考える。そうすると、下流域までの水量がなくなるのではないかと思ったところである。

【事務局】 本谷から取水する事例は、全国的にも少ないものとなっております。通常、雨水を処理した水を再利用し、どうしても足りない場合は地下水を利用するなどの措置を講じるので、その辺りにつきましては出来る限り工夫を行い、水源となるものを害さないようにするというのが一般的であります。

【司会】 なかなかご意見が出にくいことと思いますが、せっかくの機会ですので、皆様が率直に思う感想や意見などを出していただけると幸いです。

【事務局】 ご意見も出にくいようですので、こちらから参考として現処分場の立地などを説明させていただきます。

今お示ししているのは、日向市富高地区にある現最終処分場を上空から撮影した写真で、中心にある赤色のピンマークのところに処分場が位置しております。黄色の点線で円形範囲をお示ししているのは、現処分場からの距離であり、手前から 500m～2.0 km の範囲で記載しているものとなります。

750m 付近には公共施設である富高保育園があり、1.0 km を超えたあたりでは市街地に入る上に、塩見小学校や日向中学校があります。1.5 km では日向市役所、2.0 km の範囲では日向市駅が入るような状況であり、案外町場に近いところに位置していることが分かります。

次のスライドは、周辺民家や農地等の状況を整理した図面となりますが、最寄りの民家が現処分場の中心から約 400m、外周からだ約 200m のところに位置しており、750m～1.0 km の範囲を見るとかなりの数の民家が入ってくるようになります。

現処分場から約 500m の位置に多数の田が存在しており、1.0km の範囲では約 28ha の田が広がっております。トマト栽培や施設園芸などのハウスも多数存在しているところです。位置関係については、以上のとおりです。

【司会】 事務局より補足の説明がありましたが、これに関連して何かご意見等があればお願いいたします。…ご意見等はございませんでしたでしょうか。

それでは、挙手の方もないので、ここで質疑応答を終了したいと思います。大変貴重なご意見ありがとうございました。

続きまして、本日の説明会を踏まえて、最終処分場の選定や今後のスケジュールなどに関してご意見等ありましたら、日向東臼杵広域連合業務第 1 係

もしくは美郷町役場町民生活課までお問い合わせいただければと考えております。

また、日向東臼杵広域連合のホームページのお問い合わせフォーム、資料の最後のページにありますQRコード、もしくはホームページの方からもアクセスできるような状況となっております。

これまでの、三次候補地選定に係る資料も公表させていただいておりますので、ご確認いただければ幸いです。

最後に、現処分場見学会についてご案内します。現在使用している日向市一般廃棄物最終処分場の見学会を7月31日（日）に開催いたします。処分場の周辺や埋立状況、埋立している灰などを実際にご覧いただく良い機会となると思います。詳細は案内文書に記載しておりますが、電話にて申込みいただきまして、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして次期広域最終処分場用地選定に係る住民説明会を終了させていただきたいと思っております。本日は貴重な時間をありがとうございました。

～ 閉 会 ～